

使用上のご注意

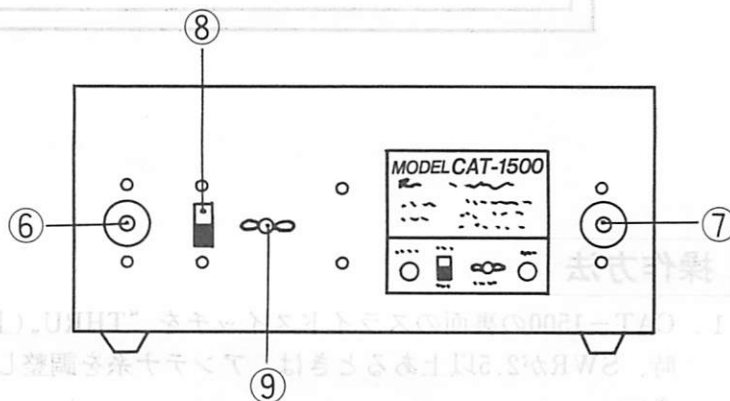
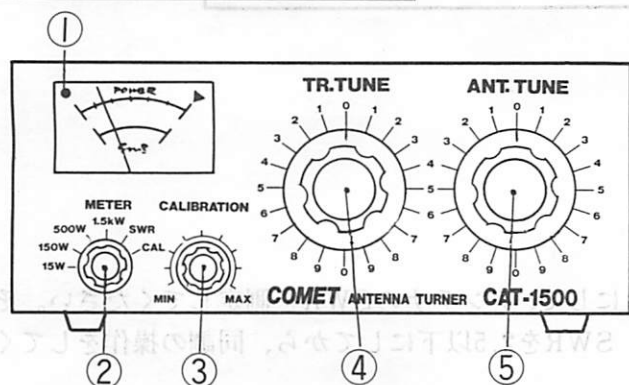
- CAT-1500は1.5kWの入力に十分耐えるように設計されておりますが、同調時は同調回路に非常に高い電圧が発生したり、送信機から見たインピーダンスが大きく変化するため、送信機を保護する意味からも、同調時の送信出力は50W以下に行なってください。
- CAT-1500は、 $20\Omega \sim 150\Omega$ (SWR約2.5:1) の範囲で同調をとることができます。したがって接続するアンテナ系のSWRが範囲外の場合は、無理に同調をとらずに、アンテナ系を調整してからご使用ください。

お買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとで生産されておりますが、万一運搬中の事故などで、破損などのトラブルがありましたら、お早目にお買い上げいただきました販売店にお申しつけくださいようお願い申し上げます。

本機の性能を十分に発揮させていただくために、本説明書を最後までお読みいただき、正しい使い方により、末長くご愛用いただけるようお願い申し上げます。

各部の名称及びその説明



①SWR, POWER メーター

このメーターは、SWRと各レンジに応じたパワーを表示します。

②METERスイッチ

メーターの表示内容を選択します。

③CALIBRATIONツマミ

SWRを測定するとき、CAL (METERスイッチ) で電力に応じてメーターの針をCAL “▼” にセットするボリュームです。

④TR. TUNE

入力側(送信機側)のインピーダンスを可変するバリコンです。

⑤ANT. TUNE

出力側(アンテナ側)のインピーダンスを可変するバリコンです。

⑥ANT.

アンテナ又はダミーロード等を接続します。

⑦TR.

無線機の出力を接続します。

⑧THRU/TUNEスイッチ

THRUにすると、SWR計として働き、同調操作はできません。

TUNEにすると、同調操作ができ、又、SWR計としても動作します。

⑨GND

トランシーバーのGND端子と接続し、さらにこの端子を接地することにより、TVI, BCIの防止に効果があります。

定 格

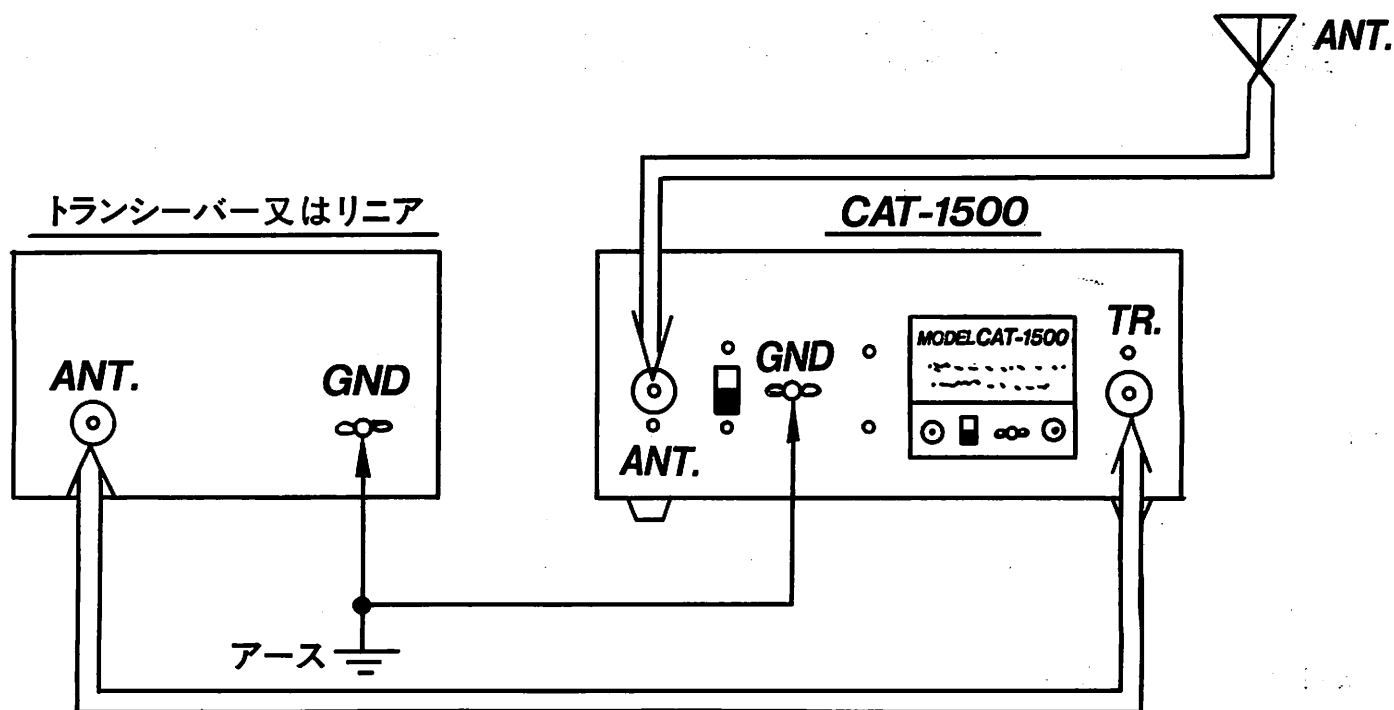
周 波 数 範 囲	26.5MHz~29.7MHz
入力インピーダンス	50 Ω 不平衡
出力インピーダンス	20 $\Omega \sim 150\Omega$ 不平衡
挿 入 損 失	0.3dB以下
通 過 許 容 電 力	1.5kW (CW・FM)
寸 法 ・ 重 量	幅 217(220)・高さ 91(102) 奥行 150(185)mm ()内は突起物を含む最大寸法 重量: 1.9kg

新風を送る技術の **コメット株式会社**

本 社: 〒336 埼玉県浦和市辻 4-18-2 ☎048-839-3131(代) FAX. 048-839-3136
大 阪 営 業 所: 〒560 大阪府豊中市豊池東町 4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011
仙 台 営 業 所: 〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀 8-7-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507
福 岡 営 業 所: 〒816 福岡市博多区井相田 2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532
札 幌 営 業 所: 〒004 北海道札幌市厚別区厚別南 4-3-4-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。

接続方法



操作方法

1. CAT-1500の裏面のスライドスイッチを“THRU.”(上側)にして、アンテナのSWRを測定してください。その時、SWRが2.5以上あるときは、アンテナ系を調整して、SWRを2.5以下にしてから、同調の操作をしてください。

(注) SWRが2.5以上で同調操作をしてもSWRは1.2以下には上がりません。

★SWR測定方法

- CAT-1500の前面のMETERスイッチを“CAL.”の位置にして、送信機のパワーを低くして、送信状態にします。
- その時、CALIBRATIONのつまみを回して、メーターの振れをフルスケールCAL“▼.”の点に合わせます。
- 完了後、METERスイッチを“SWR.”にすると、メーターは、SWR値を表示します。

〈SWRと反射電力の関係〉

S W R	1.0	1.1	1.2	1.5	2.0	2.5	3.0
反射電力(%)	0	0.22	0.8	4.0	11.1	18.4	25.0

2. CAT-1500の裏面のスライドスイッチを“TUNE.”(下側)にします。(METERスイッチは“CAL.”の位置)
3. 送信機のパワーを50W以下にして、送信状態にします。その状態でSWRを測定します。(SWR測定方法参照)
4. 送信状態のまま、(METERスイッチは“SWR.”)“TR. TUNE.”のつまみを回して、メーターの振れが最小となる点に合わせます。
5. 次に“ANT. TUNE.”のつまみを回して、メーターの振れが4.の時よりも小さくなる点に合わせます。
6. 4・5の操作を繰り返し行なって、メーターの振れが最小の点をさがしてください。その点が、同調が取れた点(SWRの最良の値)です。
7. その点で、METERスイッチをパワーレンジにすると、送信機電力(W)が測定できます。

★裏面スライドスイッチが“THRU.”のときは、SWR及びPOWER計として動作します。